

令和5年度 岡崎小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 西岡 美也子

作成日 令和5年5月15日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- あいさつができる
- 人の気持ちを考えることができる
- 規範意識の向上
- 保護者・地域との連携

【学校教育目標】

強いからだと豊かな心を養い、自ら課題を求め、
よりよく生きようとする子どもの育成

【めざす子供像】

- ・豊かな心 (思いやりのある子)
- ・考える力 (考える子)
- ・実践する姿 (さきに行動する子)
- ・強い心とからだ (きたえる子)

前年度の学校評価

- 児童が主体的に取り組む授業改善
- 情報発信の工夫
- 児童の体力アップ
- 学校図書館教育の充実

子供の実態

- 素直な態度で行動できる。
- 下級生を思いやる気持ちが育っている。
- 「書く」項目に課題がみられる。
- 「自分の考えや思いを言える」に課題がある。

重点目標

確かな学力の向上

- 思考力・判断力・表現力の育成
- 子供を主体とした、授業づくり
- 知識及び技能の習得
- 基本的生活習慣の定着
- 読書環境の整備

豊かな心の育成

- 道徳教育を柱とした教育活動の充実
- 人権意識を高め、自他共に大切に
する教育の実践
- 仲間づくりの実践

健やかな体の育成

- 基本的生活習慣の定着
- 体力向上の推進
- 安全教育の推進

地域とともにある学校

- 家庭・地域との連携を深める
- 地域の人材や資源の活用を図る

具体的な取組

- ◎読書活動の推進を図る。
- 基礎学力の定着を図るために、
学習タイムや放課後フォローアップ、
読書タイムを活用する。
- 学習指導の効率化を図るために、
高学年で教科担任制を実施する。
- 学力を定着させるため、「家庭
学習の手引き」を配布し、保
護者と連携を図る。

- 道徳科での学びを、全教育活動と
結びつけて実践力をつけていけるよ
う、指導方法の工夫を行う。
- 道徳科の教科書や副読本を活用
するとともに、教育活動全体を通
して、人権意識を高める。
- 定期的にアンケート等を実施し、
いじめの未然防止・早期発見・早
期対応に努める。
- ◎仲間づくりのための教育活動を実
践する。

- 「早寝・早起き・朝ごはん」の
大切さについて、「生活リズム調
べ」を通して、児童に意識づける
とともに、保護者への啓発を行
う。
- ◎継続的な体力づくりに取り組
むためにチャレンジランキング
等の記録会を活用する。
- 避難訓練や交通安全教室な
どを行い、危機回避能力を高め
る。

- ◎学校便りやホームページを活用
して、学校の情報(教育活動、学
校行事等)を発信していく。
- 地域ボランティアやゲストティー
チャーと連携し、教育活動の充実
を図る。
- ◎地域の産業や人材等を活用し、
ふるさとへの愛着を育むとともに、
将来の地域の担い手育成につな
げていく。

指標

- 全国学力学習状況調査及び県学習
到達度調査において、特に「書く」領
域での県平均値以上をめざす。
- アンケート「子供にわかりやすい授業
の工夫をしている」で、90%以上をめ
ざす。

- 「いじめをなくす学校・学級
づくりに取り組んでいる」(保
護者80%以上をめざす)
- 縦割りでの活動の機会を、増
やしていく。

- 毎日朝ごはんを食べてくる児童95%
以上を目指す。
- チャレンジランキング等を利用し体力
の向上を図る取組を増やしていく。
- 設定を変えて、学期に一度は避難訓
練を行う。

- 保護者へのアンケートで、「教育活動
や子どもの様子を分かりやすく知ら
せている」について85%以上を目指す。
- ゲストティーチャー等、多くの方々に
学校に来ていただき、地域に開かれた
学校をめざす。

◎…特に重点的に取り組むこと